



広報

# うまじ

第232号

平成18年12月1日発行



## え～. どうなっちゃうかが?

### 目次

平成17年度 決算の状況	②③
ようこそ うまじへ	④
目標達成! 沖縄旅行	⑤
Mr.カールのフォト・エッセイ	⑥
私たちにできること 中学生職場体験学習	⑦
キャリア教育を進める	⑧⑨
議会だより	⑩⑪
Dr.高芝のうんちく・UNTIKU	⑫
ふるさとへの便り・フォト人ウオッチング	⑬
馬路村の歴史と伝説	⑭
赤ちゃん万歳・馬路村俳壇	⑮
お知らせ	⑯
村のできごと・村内あちらこちら	⑰

11月22日、高知中央高等学校奇術部顧問の前田真孝教諭と部員5人が馬路村を訪れました。

昼はキャリア教育の一環として、村内の小中学生にマジックショーを見せたあと、前田教諭とIBM(世界規模のマジック大会)若手部門で日本人初の1位入賞を果たした西村峰龍くんの講演が行われました。

また、夜には馬路温泉で一般を対象に不思議な世界を披露し、次々と繰り広げられるマジックに観客席からの驚きの声、笑い声がホールいっぱいに響きわたりました。



# りくみと家計簿

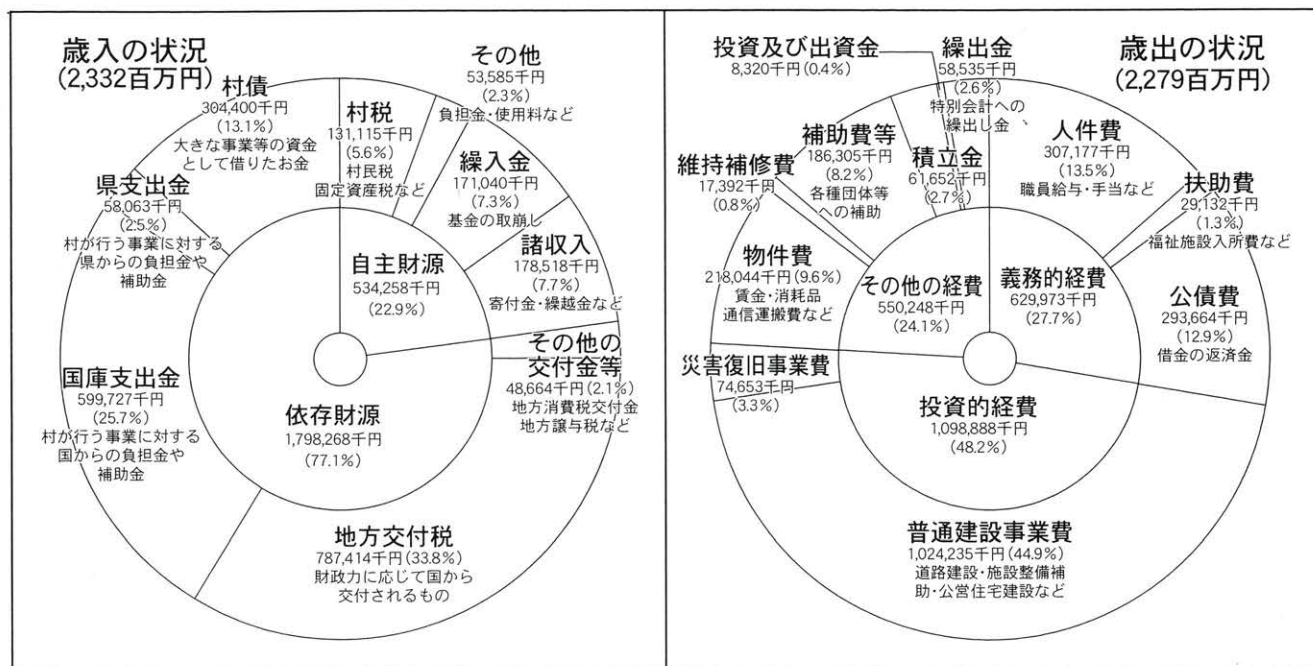
## 決算の状況

平成17年度の決算を報告します。

平成17年度の歳入歳出総額は、2,332,525,909円、歳出総額は2,279,109,121円で前年度比較で歳入は30.8%、歳出は36.4%の増加となりました。歳入歳出差引額は、53,416,788円で翌年度に繰越すべき財源29,990,000円を除く実質収支は23,426,788円の黒字となりました。

歳入歳出の伸びは、主に経営構造対策事業（新ごつくん工場建設事業）の実施によるものとなっています。

### 平成17年度歳入歳出決算額（一般会計）



また、一般会計決算額を家計に例えてみました。世帯の給与収入四十万とした場合の状況を計算してみると右表のとおりとなりました。

あたり、借金にたよる身分不相応な暮らしをしているのがよく分かります。また、家庭におけるローン残高も多く、ローンの返済を借金で行っている現状も見て取れます。今後は、まず歳出抑制など新たな借金を減らす取り組みが求められています。

#### ▼馬路村一般会計

総収入	2332百万円
村税・譲与税・国県補助金等	975百万円
地方交付税	787百万円
繰入金(基金取崩し)	171百万円
村債(借入金)	304百万円
繰越金(前年度からの繰越金)	95百万円
総支出	2279百万円
人件費(給与・手当等)	307百万円
扶助費	29百万円
公債費(借金の元利償還金)	294百万円
繰出金(特別会計等へ支出経費)	59百万円
その他	1590百万円
形式収支	53百万円
繰り越すべき財源(翌年度必要経費)	30百万円
実質収支	23百万円
起債残高	2354百万円
基金残高	1680百万円



馬路村の財政を家計に例えたら

#### ▼月給40万円の世帯

総収入(月額)	956,718円
一世帯の給与収入	400,000円
親からの仕送り	322,872円
貯金の引き下ろし	70,154円
借金	124,718円
前月の余剰金	38,974円
総支出(月額)	934,974円
食費	125,949円
医療費等	11,897円
ローン返済	120,615円
子どもへの仕送り	24,205円
その他住宅費、衣料費等	652,308円
差引収支(月額)	21,744円
翌月支払義務経費	12,308円
実質的な収支	9,436円
ローン残高(元金のみ)	11,588,923円
預金残高	8,270,769円



# 知っていますか？馬路村のと

## 平成17年度

### 主なとりくみと成果

#### 総務課

##### ●行政改革の一層の推進

我が国の行財政を取り巻く環境は依然として極めて厳しく、馬路村でも「馬路村行政改革大綱」を見直し、退職者数及び採用者数の見込みを明示、可能な限り目標の数値化や住民にわかりやすい指標を用いる等、平成二十一年度までの具体的な取り組みを明示した計画、「集中改革プラン」を策定しました。

##### ●情報の公開・保護等

村民のみなさんの共有の財産で、村がもっている情報を公開しようとする「情報公開

#### 健康福祉課

この一年をとおり村の健康課題を、健康・福祉・医療のそれぞれの視野で検討し、村の健康増進施策の方向付けができてきました。

##### ●保健事業

生活習慣病予防を題材とし診療所と健康福祉課合同でのオリジナル健康劇を上演したことで、医療・福祉の連携が深まるとともに、健康優良村を目指す保健事業の啓発に

なったと思われず。要介護状態に陥らないために、「いきいき百歳体操」や食生活の改善指導を行うなど

条例」と、村で事務を行うにあたって文書等に記録されている個人の情報について知ることや訂正等を求めることができる「個人情報保護条例」が、四月一日から施行されました。平成十七年度の開示請求はありませんでした。

##### ●生活に欠かせない通信の確保

老朽化のため故障が絶えなかった有線放送設備は、機器の全面改修を行いました。しかし、将来発生が危惧される南海地震等に備え、無線を使った新しいデジタル情報伝達システム整備の必要にせまられています。

##### ●診療所

高齢者本人や介護者の精神的身体的負担の軽減を図り、在宅生活維持向上に努めました。一般診療とあわせ、健康診断を実施しており、この健診データの蓄積管理をもとに、住民の健康問題やこれから起こりえる状態を予想した、支援活動を促進してきました。自動体外式除細動器(AED)の配備を行い、医師による救命講習会を実施しました。広域高知医療センターの医師による災害時における救急搬送(ドクターヘリ)及び、へき地医療の現状について、それぞれ講義を受けました。

#### 産業建設課

産業の育成と生活基盤の拡充に取り組み、活力ある地域づくりに取り組みました。

##### ●農林業振興

国庫補助事業の経営構造対策事業を導入し、JA馬路に「ゆずの森加工場」建設工事・機械設備を整備し、十八年三月に完成しました。これにより、安定した柚子加工品の供給体制が確立され、柚子産業の振興が図られました。馬路村木製品販売対策事業により、林業各種団体の実施する事業に対して補助を行いました。これにより、林業団体の経営基盤の安定につながっています。

#### 教育委員会

##### ●キャリア教育

文部科学省の「キャリア・スタート・ウィーク推進地域」の指定を受け、学校・地域・PTAとともに推進連絡協議会を立ち上げました。「望ましい勤労観・職業観」を持ち、たくましく未来を切り開く児童・生徒の育成をねらいに五日間の職場体験を中心に取り組みを行うとともに定着をめざし、授業改善や見直しを行いました。また、先進地視察やキャリア・アドバイザの講演を行い、保・小・中連絡会では、村の子どもに

##### ●生活基盤の拡充

・農道整備  
柚子生産活動や水田耕作に不可欠である農道の整備を行いました。四路線(平野谷線・城床線・朝日出線・朝日出宮ノ前線)路線延長410m。  
・林道整備  
間伐等森林施業の効率性の向上のため林道の整備を行いました。(押谷線・西谷朝日出線)路線延長317m。  
・村道整備  
生活基盤の核である村道の舗装補修、横断・側溝整備等を行いました。  
・公営住宅の整備  
住環境整備のため馬路村日浦第二団地に木造二階建二棟三戸、木造平屋建二棟四戸の公営住宅の整備を行いました。

##### ●施設整備

馬路中学校舎の耐震診断調査結果に基づく補強及び学校の安全性の追求と環境の向上を目的とした改造工事設計を行い、十八年度に工事を実施します。

##### ●社会教育

家庭・地域・学校の教育力の向上、多様な学習機会の提供を目指した講演会、講座を開催しました。

##### ●文化財保存活動

「馬路村の巨樹古木」を文化財調査委員と協力し調査し発刊しました。



# ようこそうまじへ

## ゆずはじまる祭

馬路村が最も美しい季節。10月22日魚梁瀬地区村民運動会、11月3日ゆずはじまる祭、同4日第14回山師達人選手権大会へ、県内外からたくさんの方々が足をはこんでくださいました。

それぞれのイベントの様様を写真でお知らせします。



## 第14回山師達人選手権大会

## 魚梁瀬地区村民運動会



# 目標達成！沖縄旅行 —馬路青年團—

自分たちが育てた米でもちをつき、二年間で二百万円だ  
まっした馬路青年團（団員数二十一一人）。夢の海外旅行とはい  
きませんが、もちつきでお世話になったおばちゃん二人と  
一緒に総勢二十人で九月十六日から十八日の二泊三日の沖  
縄旅行を思いっきり楽しんできました。「もちつき青年團」  
として活動を始め三年目、地域の皆さまに温かく見守って  
いただき、ご理解ご協力を賜ったおかげで、目標が達成で  
きました。

沖縄に台風が接

近する悪天候のな  
か沖縄上空から引  
き返し可能性あり  
の手に汗にぎるフ  
ライト。無事到着  
できた時はメチャ  
クチャ嬉しかった  
です。ある意味、  
本場の台風を味わ  
えたことは初めて  
で、自然の猛威に  
驚きと恐怖を感じ  
ました。

初日は首里城、  
二日目は琉球村、  
万座毛と、沖縄独  
特の風景、文化は  
とても新鮮で、見  
て食べて本当に楽  
しかったです。  
一緒に行ったお  
ばちゃん二人にも  
「若い人たちがと  
一緒の旅行は見る  
ものも違い、楽し  
かった」と喜んで  
いただけたのでよ

かったです。

この旅行で、団員たちの横  
のつながりも深まったし、み  
んなでの旅行は一生の思い出  
になったと思います。

私は人見知りな激しいので、  
自分から話しかけるのはもっ  
てのほか。正直、行く前はど  
うなるのか不安で胸いっぱい  
だったけど、「どうしよう」  
「あー、どうして私ここに  
るがやろ」って思ってたとき  
に話しかけてくれて、めっ  
ちや助かったし、うれしかっ  
たです。

自動ドアが手動になるくら  
いの台風ですが、なにより  
もジュースと違って飲んだ  
泡盛の味が忘れられません。  
「酒」って感じのきつきで酔  
いがまわるのを自覚しながら  
も、初日でみんなにうちとけ  
られんかったら…との思いも  
手伝って、飲んで気が軽く  
なって良かったと思います。  
同室の女同士でした恋バナ  
（恋の話）は新鮮で、ホテル

に残った者同士での飲み会でも、  
いろいろ聞いてもらえ楽し  
かったです。

初日のおかげで、もう明日  
は高知なんだからと思うときび  
しいと思うくらい満たされた  
三日間になりました。なんか  
あったかいなと思いました。  
本当に行って良かったって思  
います。



がむしゃらに活動をした  
二年間でした。平成十五年、  
東京都武蔵野市の東急吉祥寺  
百貨店で「高知の村・馬路村  
の夏祭り」に「もちつき部隊」  
としての参加をきっかけに、  
上治堂司村長から「遊び心を

もった活動をすればいい。も  
ちつきで稼いで海外旅行に  
行ってこい」との提案に団員  
は活動に真剣に取り組みよう  
になりました。

二年目にはコスト抑制と安  
心安全な食へのこだわりとし  
てもち米づくりからスタート。  
高齢化で耕作放棄の水田四カ  
所五十軒を借り「青年の田」  
と命名しました。ただ、団員

の中には米農家は一人もいな  
い未経験者ばかり。合鴨農法  
に挑戦すれば鴨が逃亡、台風、  
猪の襲来等、苦勞や困難も多  
く、経験豊富な農家の指導を  
受けながら一生懸命取り組み  
ました。失敗を繰り返して収穫  
できた時の喜びと満足感と言  
葉にできないほどでした。

もちつきで村内外のイベン  
トなどへ走り回りましたが、  
団員は文句も言わず休日返上  
で働いてくれました。誰かに  
強いられてする行動は抵抗が  
あり、うまくいかないもので  
すが「材料がある限りもちほ  
つく」という一心で取り組み  
ました。最初のころは蒸し加  
減もわからず、かたかったり  
やわらかすぎたり、白の縁や  
手つき、もちの中のあるこ  
が飛び出たり片寄ったりしま  
したが、地域の皆さまに温か

く見守ってもらい、買っていた  
だいたことに感謝しています。

もちつきを通していろいろ  
な経験もできました。もちの  
切り方、丸め方を教えていた  
だし、一緒にイベントへも参  
加してもらったなど、お世話に  
なったおばちゃんとのふれあ  
いもその一つです。いろいろ  
な知恵も教えてもらい、伝統  
文化を受け継いでいきたいと  
思いました。米づくりでも先  
人たちの知恵や工夫も勉強に  
なりました。ベテラン農家の  
ご指導がなければ全くわから  
なかつたし、食べ物や収穫で  
きる喜びと感謝の気持ちすら  
わからなかつたと思います。

力を合わせれば休耕田を減ら  
すことができることも実感し  
ました。また、地域の皆さま  
のご理解ご協力があるからこ  
そ、元気のある青年団活動、  
地域の活性化などにつながる  
と思います。

ここ数年、成人式で紅白も  
ちを祝辞とともに贈呈してい  
ますが、次世代にも「若い力  
と古きよき文化」を受け継い  
でほしいです。そのため、  
いつか人生を振り返った時に  
「青年団へ入ってよかった」  
と思ってくれる瞬間を期待し  
ながら、一つのことを目標に  
やり遂げる大切さと、遊び心  
を持った活動に今後もチャレ  
ンジしていきたいと思えます。

「入ってよかった」を期待して



Mr. カールの エッセイ

⑧  
外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン  
(アメリカ合衆国ミネソタ州サークルバインズ 出身)

## HAPPY! ハロウィン

こんにちは。僕はこの記事でみんなが健康で楽しくなることを願っている。寒い冬になったけど、すばらしい秋の彩りを楽しんだことを思い出してほしい。今回はハロウィンについて書きたいと思う。まず、ハロウィンがどこから始まったかを、そしてアメリカ、ミネソタではどのように祝われているかを書きたいと思う。

ハロウィンは世界中でもっとも古く、もっとも人気のある休日の一つだ。そして、大きな祭は大ブリテンと北アイルランドの連合、メキシコ、ラテンアメリカ、アメリカ、カナダ、スペインで行われ、そして世界中で祝われている。そう、ハロウィンは大きな祭だ。でも、どこから始まったのか。

ハロウィンの起源は、古代ケルト地方の祭、「Shamhain(ソーイン)」だ。ケルト人は今、アイルランドと言われている地方に2000年前に住んでいた人々で、11月1日に新年を祝っている。なぜなら、この日は夏の終わりの日とされ、作物の収穫の時であり、そして暗く寒い冬の始まりの日でもある。ケルト人はまた、この日を人の死と関連つけて考え、新年の前夜は生の世界と死の世界のはさまがあいまいになると信じていた。この日に死人が死から生の世界へ入ってくることができると考えたのだ。それで10月31日にケルト人は大きなかがり火を焚く大きな祭を行い、そして悪い死者の霊から身をかわすため、仮装をするのだ。では、ハロウィンの名前はどこからきたのだろうか？

ハロウィンの名前は本当のところはキリスト教から来ている。約1200年前(西暦800年)、キリスト教の影響がケルト地方全域に広がった。7世紀にポープ・ボニファティウス4世が11月1日を「オール ハロウマス」とした。この言葉はすべての聖徒の日を意味する。10月31日の前夜、ソーインの夜が「オール ハロウマス イブ(すべての神聖な前夜)」と呼ばれ始め、それが徐々に「ハロウィン」とかわっていったのだ。

アメリカ、ミネソタではどのようにハロウィンを祝うのか。

1)「トリック オア トリート！」  
(お菓子をくれないといたずらするぞ)

昨年アメリカでは5歳から13歳までの3610万人が「トリック オア トリート」を楽しんだと言われている。トリック オア トリートって何かって。こどもたちがコスチュームで着飾り、近所の家々をまわりキャンディーをもらうため言う言葉だ。

2)「ジャック・オ・ランタンズ！」

かぼちゃに顔を掘り中身をくりぬいた中にろうそくを立て、それに火をともしのぼすのだ。みんな、いつもジャック・オ・ランタンを作る。アメリカでは去年60万トンのオレンジかぼちゃが使われた。



ジャック・オ・ランタンズ!

3) コスチューム!

トリック オア トリートを楽しむ子どもたちは全員、仮装しなければならない。小学校では毎年ハロウィンのための仮装パーティーをする。また、大人も期間中、仮装パーティーをして楽しむのだ。

僕は今年みんながハロウィンを楽しんでくれたことだと思う。僕はハロウィンを祝うトリック オア トリートイングをしてすばらしい時を過ごせた。みんなありがとう。



右から3番目は僕のママ

トリック  
オア  
トリート!  
\*  
\*  
\*  
\*



# わたしたちがどうもありがとう

十一月六日～十日に行われた職場体験学習。私は教育委員会を希望し、広報作成のために役場健康福祉課の方にお世話していただいて関係機関を取材してきました。それぞれの職場の方が日々どのような気持ちで働いているのを見聞きして、『今、わたしたちに何ができるのか』についてまとめてみました。

広報作成を初めて担当させていただき、ミスもありましたが、仕事の厳しさもわかりました。この五日間の中では、メルトセンターのことが最も印象に残っています。

魚梁瀬中学校 年 小松 里 佐

## デイサービスセンター

私が取材に行くと、魚梁瀬中学校の二人がデイサービス利用者の入浴介助を行っている最中でした。

朝は十時までにお迎えと健康チェックを済ませ、十時になると女性からお風呂に入り、十一時四十分ごろから食事。

午後は、一時から手芸やパズルを楽しみ、体操・おやつを済ませ、三時四十分ごろお帰りになるのが一日のスケジュールです。

「職場での二人はどうですか？」と西岡貴範さんに尋ねてみると「二人とも動きが良



おばあさんピース見つかった？

いのでとても助かっていました」と言われていました。体験に来た二人も、「おじいさん・おばあさんと接することで学ぶことがたくさんあるので、将来に生かしたいです」とコメントしていました。

## 診療所

村民のみなさんは当たり前のように診療所を訪れていると思いますが、もしも村に診療所がなかったらどうしますか？

診療所では、医師・看護師・理学療法士・役場の職員と臨時職員が一体となって日々医療活動を行っています。しかしこの中から一人でも欠けると、一人一人の仕事が増大して大変になるので、みんなは体調管理には十分気をつけていると高芝医師は言われました。

高齢の方に「馬路村で生活する上で困ることは何ですか？」と聞くと、「大きなけがをした時や交通手段に困るねえ」と返事をいただきました。みなさんも日々の生活習慣を見直し健康には気をつけましょう。

## 中学生職場体験学習

### 安芸広域メルトセンター

今年の四月から本格運転を始めた安芸広域メルトセンターですが、どのようにごみを処理しているのか知っている方は少ないのではないのでしょうか？

まず、施設の特徴として、①ガス溶融炉（ごみを高温で溶かしてスラグとメタルに変えます。スラグとメタルは、道路資源や金属材料として再利用します）

②ごみ発電（ごみを溶かすときに発生する高温の熱を利用して、電気を作ります）

③バリアフリー（この施設の見学コースは、だれでも気軽に見学できるようにできています）

皆さんは、（大）九十円・（小）六十円のごみ袋を買って出していると思いますが、センターでは一キログラムのごみの処理に二十五円の費用がかかっています。ごみ出しが有料になりましたが、ごみの量は増え続けているので、ごみ袋代で賄わ



馬路中のゴミを集めました

れない処理費や負担金を村の税金でおぎなっています。案内をしていた井上さんに「わたしたちが身近にできることはありますか？」と聞きすると、「いくらカンも一緒に捨てていいといても、分別をしないとそれが老人クラブの資金になったり、村の負担するお金が減るので、なるべく分別を出してほしいですね」とおっしゃっていました。

それは村民一人一人の心掛けで変わるのではないのでしょうか。

不慣れな私の取材に協力してくださいましたみなさん、ありがとうございました。



# キャリア教育を進める⑥

## ～村ぐるみで子どもを育てよう～

### 職場体験学習 その1

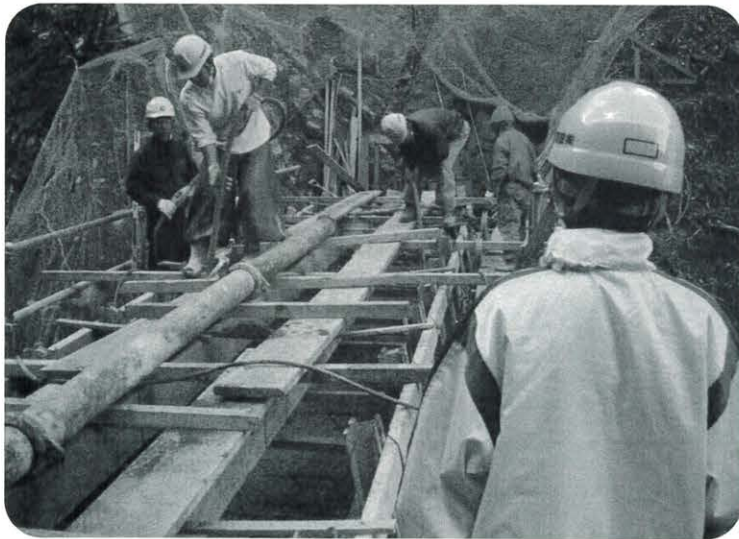
#### 平成18年度職場体験学習取り組みのポイント

今年度の職場体験学習では、「周りからやらされる」学習ではなく、「目的をもって自ら学ぶ」学習となることにねらいをおいて取り組みました。そのために、事前の訪問や打ち合わせ・計画、アポイントメント取りなどに必要以上に教師が手助けをしないようにし、そのかわり各場面で自分で対応をしていくための手立てに力を入れてきました。そして、その場その場で臨機応変に生徒が対応できていくことによって、将来どの場面や職場においても気の利いた行動や仕事ができる人間に育っていくことをねらいとしました。

#### 体験事業所一覧

- ・馬路温泉 ・湯浅建設
- ・エコアス馬路村 ・役場・教育委員会
- ・ゆず加工場 ・デイサービス
- ・馬路小学校 ・魚梁瀬小学校
- ・馬路保育所 ・魚梁瀬保育所

#### 湯浅建設



作業現場は身近な所だけでなく、普通の車では入れないようなでこぼこ道を登った山の上にもありました。山の現場はとても寒く、ときには高い所に登って作業することもありました。しかし、そういった作業が魚梁瀬の道や山を支えているのだと感じることが出来たようです。

また、現場の手伝いだけでなく事務の仕事や掃除などさまざまな仕事も経験しました。五日間、作業の手伝いや見学をすることで、土木工事の大変さや建設業の重要性についても学べたと思います。

#### 馬路小学校



馬路中二年の男子二人は、将来なりたい職業の選択肢の中に「学校の先生」というのがあり、先生の仕事について、もっと詳しく知りたいというところで今回の体験となりました。



先生方の授業補助や学校用務、学校保健等について体験してきましたが、実際に子どもたちに分かりやすく説明することの大変さが身にしみて分かったようです。小学生の笑顔に励まされながら、毎日大変充実していたようで「もっとやりたい」といきいき語る姿が印象的でした。



## 馬路保育所



馬路中二年の男女三人が参加しました。

保育所に訪問した時にはベランダで昼食中。緊張感もほぐれ、その場になじみ園児に對しての声かけもいぶん慣れた様子でした。

最後の五日目には、設定保育という時間を任せられ、いろいろなゲームを分かりやすく子どもたちに説明し一緒に楽しんでいました。いつも元気な三人ですが、五日間園児と

かかわって「子どもたちの元気なパワーには負けた」という感想がありました。友だち同士のけんかの仲裁に入ったときに「ごめんなさい」と、お互いに謝らせることの難しさなど、個々の子どもたちへの対応の難しさも痛感したようです。

先生方にあたたかく支えられ、園児たちの笑顔に励まされて無事職場体験を終えることができました。

## 役場・教育委員会

福祉をテーマにし、広報のページ分を作成するため、診療所、デイサービス等を訪問取材。また、ゴミ収集車の密着取材をし、午前中は岩田さんと馬路村全域のゴミを集め、午後は、安芸広域メルトセンターにゴミを運び、待望の内部見学も実現しました。その他、会議の準備や接待、新聞とじなどの雑用もあったようです。

福祉をテーマにし、広報のページ分を作成するため、診療所、デイサービス等を訪問取材。また、ゴミ収集車の密着取材をし、午前中は岩田さんと馬路村全域のゴミを集め、午後は、安芸広域メルトセンターにゴミを運び、待望の内部見学も実現しました。その他、会議の準備や接待、新聞とじなどの雑用もあったようです。



初日には木材搬出現場から加工製品ができるまでの説明を聞き、エコアス馬路村の仕事内容を理解することができました。

加工課作業ではスライス、検品、包装、糊付けなどを体験。工場でのライン作業は、一日中立ちっぱなしの仕事で、足がガクガクになり大変だったけど、終わった後の達成感を味わったようです。

## エコアス馬路村



事業課作業では、実際に山に入り、間伐作業助手として働きました。山での作業は初めてで、「急斜面では作業で足を踏み外すと下へ落ちていきそうでした」という感想も聞かれました。

次号には職場体験学習  
その2を掲載します。



# 議会だより

九月定例議会(9月20日～25日)

No. 106

平成 18 年九月定例議会は 9 月 20 日から 25 日までの 6 日間行われた。

初日は、同意議案 1 件(同意)、平成 17 年度決算認定議案 6 件の他 11 件の議案説明が行われた。議案精査休会の後 25 日には一般質問、議案審議、議員提出議案 3 件の採決が行われ閉会した。

## 一般質問

一般質問は、二十三日に行われ五氏が立ち地域振興、県道改良、教育行政、防災対策等について質問を行った。(質問主旨、執行部答弁要旨)

問 清岡博基 議員

魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した観光事業への取り組みについて聞く。中芸五ヶ町村の教育委員会、県地域づくり支援課の協力を得て「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」が組織され広域に亘り森林鉄道を重要文化財指定へと平成十八年から二ヶ年の間に奈良文化財研究所に調査を依頼し平成二十年に指定を目標している。魚梁瀬森林鉄道が指定となれば村観光資源としての活用又、中芸地域の町並み保存と併せた地域興しへの取り組みについて問う。

答 村長

「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」の発足の経緯、活動については承知している。馬路村には魚梁瀬、馬路両地区に森林鉄道を走らせ観光産業の一つとなっている。中芸広域連合の中でも観光

と産業振興を一元化へと研究会を立ち上げて議論を重ねてきたが各町村の観光資源に対する温度差があり一元化は無理との結論になりつつあるのが当「活用する会」より各町村の観光振興を所管する部に声掛けを願いたい。

問 岡田長康 議員

平瀬地区村有地の有効活用について問う。村が昭和六十二年に取得した約五反歩余の土地が現在までこれといった有効活用がされないまま土砂等の仮置場となっている。この場所は安田町境に近く馬路村への玄関口である。執行部では今までも村の玄関口に相応しい施設を何度か構想を持ったが実現に至っていない。

答 村長

この村有地の利活用であるが、唯一の生命線である県道の二車線の促進剤としての用地の無償提供、及び残地は公園に、水辺近くには親水公園の設置を県に要望してはどうか。今後の検討課題と片付けず議員の道路特別委員ととも

仮置場として利用している。県道改良用地とのことだが、現在村内県道二路線で施工箇所付けが九箇所、二億七百万円が予定されている。平瀬地区の改良事業について県土木部への問い合わせでは、国庫補助事業への採択は当面難しく県単独事業となるのではとのことであるが、今の県財政状況からして改良、公園の施工は無理と考える。

問 五味隆仁 議員

教育行政について聞く。「土佐の教育改革」が十年目を迎え報道等では一定の成果があるとのことである。その検証については来年の二、三月頃に出る結果に注目している。

答 教育長

現在村では「キャリア教育」を推進しているがその現状と今後の教育行政の在り方、方向性について問う。「土佐の教育改革」は、子ども達が主人公を合言葉に平成九年に始まり本年が最終年となる。この改革について県民や専門家による成果と課題について検証と総括を行い今後の高知県の教育の方向性を見いだすこととなる。

本村の「キャリア教育」の

現状は二十一世紀をこころ豊に生き抜ける子ども達を育てる教育の確立を目指し、望ましい勤労観・職業観を育み遅く未来を切り拓く「馬路の子」の育成に立ち、教育活動の見直しに取り組んでいる。今後の方向性については「キャリア教育」を教育行政の最重要課題と位置付けて学校、家庭、地域の連携・協力を高める風土づくりに努める。尚、教員の認識不足については、校長・教頭会等を通じて全教員に周知を行う。

問 岩城佳子 議員

防災・災害対策について問う。地震、台風災害等による道路網の寸断時の急病、急患の搬送、高齢化社会の中専門医不足による患者の遠距離搬送の手段としてヘリコプターは必須と考える。しかしながら本村には十分なヘリポートが無いのが現状である。専用ヘリポート確保の必要性について問う。

次に河川の防災対策について聞く。近年安田川の通称工ヤノマキ対岸付近が竹や葦の群生により大量の土砂等が堆積し、先の洪水では村道まで水が迫り流失寸前であった。

当河川は二級河川であり県



の指導を受け早急に対策を取るべきと思うが考えを聞く。

〔答〕 村長

村ではヘリコプターの離着陸場所として村民グラウンド、魚梁瀬小中グラウンド、魚梁瀬森林公園を指定しているが、それぞれの場合において諸事情により使用の困難な場合が発生している。離着陸場所の指定には様々な要件を考慮した場合、農協ゆずの森ターミナル又は、林道一谷線上方の広場が考えられるが諸機関の調査、決定が必要であり、指定可能となれば村地域防災計画に盛り込む考えである。

安田川洪水対策であるが、一昨年の台風により越水災害が発生している。県への要望は行っているが県の財政状況により採択順位を付けざるを得ないとのことである。他市町村の事例では、河川愛護団体が自主的なボランティア活動で河川の清掃、整備を行っている例がある。

〔問〕 新玉一心 議員  
魚梁瀬急傾斜崩壊危険地区について再度聞く。先の議会答弁では、安芸土木事務所、同林業事務所によるこの区域の調査での「崩壊の兆しは無い」では地区住民は納得出来

ない。昨今の豪雨は時間雨量百ミリを越えるものが経常化している。地震対策とも併せて再度の見直し、調査が必要と考える。又事業採択に時間を要するならば当地区の該当面積、雨量及び排水能力量等の調査も行ってその結果の文章による報告を求めます。

〔答〕 村長

先の六月議会の答弁で当地区の予防対策としては、予防治山工事、砂防堰堤工事がある。現在村内危険箇所対策事

## 議案と審議結果

九月定例議会には、二十件の議案が提出され、何れも可決された。(抜粋掲載)

〔同意議案〕  
◎教育委員会委員の任命  
大宇魚梁瀬十番地三  
岡野 幸平  
昭和三十年九月三十日生  
〔十七年度六会計歳入歳出決算の認定〕

◎六会計、総額で歳入二十八億三千九百九十三万二千円、歳出で二十七億七千七百九十四万八千円となる。  
〔監査委員意見後載〕  
〔馬路村「木の里」づくり景

業を六箇所県に要望しているが、災害の発生箇所が優先され、予防的な事業は採択されないのが現実である。簡易な床止め工等の設置は採択の可能性はあるが順番待ちの状況である。  
震災対策では、国・県へ新規事業の新設を併せて要望していく。  
調査については、県等が実施するものであれば県等へ要望していく。村が実施すべきものであれば研究、検討する。

◎馬路村の歴史・文化・風土・自然を生かした農山村景観の維持と「木の里馬路村」の復興を目指した景観づくりを村民とともに推進するもの。  
〔馬路村国民健康保険条例の一部改正〕  
◎法律改正による。(出産育児一時金を三十万円から三十五万円に改正。)

〔十八年度一般会計補正予算〕  
◎歳入歳出それぞれに五千八百九十万円追加し総額十五億六千二百九十万円とする。  
〔十八年度簡易水道特別会計

補正予算〕  
◎歳入歳出それぞれに四十万円追加し総額三千四百四十万円とする。  
〔十八年度国民健康保険特別会計補正予算〕  
◎歳入歳出それぞれに八百万円追加し総額一億三千三百六十万円とする。  
〔十八年度診療所特別会計補正予算〕  
◎歳入歳出それぞれに五十万円追加し総額二千四百万円とする。

平成十七年度六会計の歳入歳出決算に対し審査を行い、それに基づき各執行機関長へ提出した中で、一般会計について抜粋掲載をする。

## 平成17年度決算審査意見書

歳入決算額は二十三億三千二百五十二万六千円であり、

そのうち自主財源比率は二十三日(対前年度二%減、国・県への依存率は増となる。)  
歳出決算額は二十二億七千九百九十九万九千円となり単年度実質収支では一千二十七万五千円の赤字となり前年度よりも財政状況は悪化している。  
歳出のなかで経常的経費は対前年度五・四%の減。投資的経費は四十九%の増で評価出来る。(農協ゆずの森構への補助金等農林水産業が対前年度約五億、土木費の一億四千万円の増が突出している。)

尚、会計事務処理については適正に処理されていると認められる。

## 意見書、陳情

今定例会に、意見書議案一件、陳情一件が提出可決され国の関係機関、村執行部へ提出された。(全員可決)  
◎意見書(集配局の廃止再編計画に反対する意見書)  
◎陳情(力チヤ地区急傾斜地崩壊対策事業の早期導入を求めめる陳情)



## 馬路村を健康優良村に

### 腹囲集計結果発表！ 特に四〇才代の 男性は注意を

男性は注意を

現在馬路村は、健康づくり  
に特に力を入れて、計画的に  
取り組んでいます。その一つ  
として、病気を未然に防ぐた  
め、若い時からの生活習慣を  
見直すことを呼びかけてい  
ます。

内臓脂肪が蓄積することで  
腹囲が大きくなり、過剰な内  
臓脂肪はさまざまな生活習慣  
病を引き起こすと言われてい  
ます。そこで、誰もが手軽に  
できる簡単な方法として、去  
る8月、「健康づくり婦人会」  
の協力をいただき、村内の若  
年対象者（二十歳から四十九  
歳まで）の方に、紙メジャー  
を配布し、それぞれで腹囲を  
測定していただきました。そ  
の結果を回収し、集計しま  
した。

測定してみた方、結果はい  
かがでしたでしょうか。ご自

身が全体の中のどのレベルに  
あるかを知ることが、健康へ  
のとりくみの一歩と考えます  
ので、測定の結果を公表いた  
します。

対象者237人に配布した内、  
回収した数は、男性47人、  
女性45人、合計92人でした。  
回収率は約38%でした。

まず男性ですが、過半数の  
人（26人）が基準値85cmを  
オーバーしていました。グラ  
フは年代別に模様分けしてあ  
ります。四十歳代になると右  
寄り（腹囲の大きいほう）に  
移動しているのがお分かりだ  
と思います。

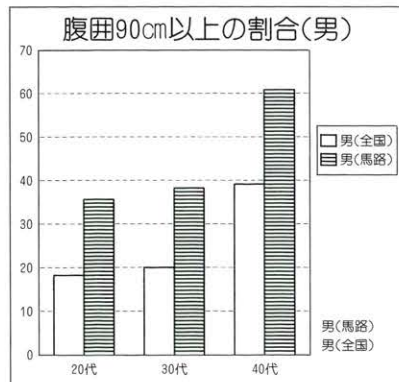
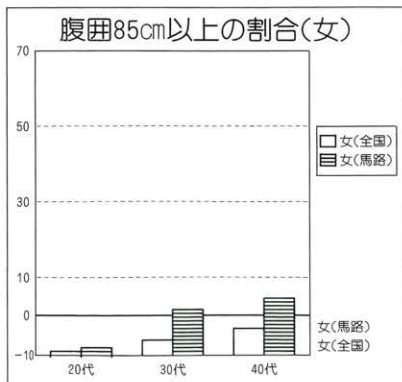
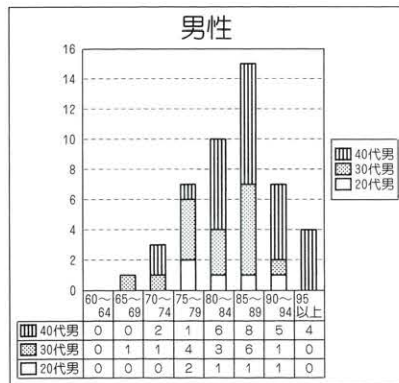
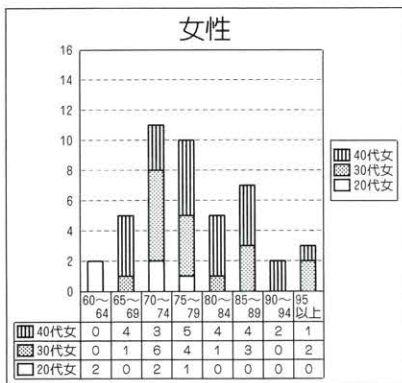
次に女性ですが、基準値  
90cmを超えた方は少数でした。  
日ごろから健康にも気をつけ  
ている結果で、大変喜ばしい  
ことだと思えます。ただし、  
腹囲だけで健康状態を正確に  
推し測ることはできません。  
あくまで指標の一つであるこ  
とを確認しましょう。

全国平均が気になるところ  
ですが、厚生労働省が行った  
『平成16年国民健康・栄養調

査結果の概要』を参考に、腹  
囲で基準をオーバーした人の  
割合を、馬路村の結果と比較  
しました。やはり男性のほう  
がやや問題ありのようです。  
これを機会にぜひ、日ごろ  
の生活習慣のありかたを見直  
してみてください。

柚子の収穫も一段落で、無  
理をされた方も多かったのだ  
ではないでしょうか。楽しみな  
がら長続きする方法で、健康  
づくりをいっしょに行ってい  
きましょう。

今回は、10月に行われた西  
森美恵管理栄養士（高知なで  
しこの会・副会長）の講演内  
容と実践風景をご紹介します。  
定です。お楽しみに。







# 馬中野球は私の原点は

安芸市  
谷井 慎二  
(朝日出出身)

安芸市に住居を構えて早十年、妻と三人の子どもたちと五人家族で暮らしています。現在は、香南市立夜須中学校で保健体育教師として勤務しています。昨年まで安田中学校、その前は奈半利中学校と馬路村と同じ中芸地区の学校に勤務していました。また、その頃は祖父も馬路村に暮らしていたため、月に二度は実家に帰っていました。今では祖父も他界し、以前よりは村に帰る回数も減りましたが、毎年十一月〜十二月のユズの収穫期には妻の両親といっしょにユズを穫りに出かけています。

私にとって馬路村と言えば少年時代は自然の中で遊び、中学時代には野球で鍛えられたという思いが今でも心に残っています。振り返って考えてみると今の私の生き方の原点であったようにも感じています。当時の野球は厳しいの一言でした。筋肉痛でまともに歩けないことや、疲れて食事が喉を通らない日、時には精神的にまいってしまいうこともありました。ただ、そういった厳しさの中には自分自身を満足させてくれるものが確実にあつた。

たというのも事実であり、その後安芸高等学校、日本体育大学で野球を続け、現在中学教師という立場で野球を通じての人間形成を目標として日々頑張っています。現在私が指導している夜須中学校野球部は、この夏の県選手権大会で二十八年ぶりのベスト8という結果を残すことができました。ただ、三年生が引退した新チームでは部員が七人と少なく、次の新入部員を待つしかない状態にあります。馬路中学校も生徒数不足で過去何度もこういう状態であったことも知っています。我が母校馬路中学校の頑張りを見習って何とか夜須中から野球の灯が消えないようにすることも今の私の大きな仕事だと感じています。馬路中学校野球部の皆さんお互い頑張りましょう。ちなみに私の長男も清水ヶ丘中学校一年生。親の思いを知ってか知らずか野球部で活動しています。嬉しいことです。

最後になりましたが、ほんとうに馬路村は自然が豊かで良い環境にあります。いつまでも温かい村であつてほしいです。



# ふるさとへの思い 21



## フォトウォッチング③7 あいあいクラブ

そんなクラブの平均年齢は七十六歳。体操後のお茶の時間には、何十年もかけて受けている。

最近、相名会館の前を通ると、楽しそうな声が聞こえてくることがある。昼近くになると、おばちゃんたちが出てきて、連れ立って歩いて帰る姿が見られたりする。彼女たちは「あいあいクラブ」(相名を愛する仲良しクラブ)。「楽しく元気に、住み慣れた相名で暮らす」ことを目的としたグループである。今年七月に発足して以来、毎週二回、午前九時半に相名会館に集まり、介護予防のため、いきいき百歳体操を行っている。

## 楽しく元気に 相名でいつまでも

皆、野菜や漬物を作ったり、外出したり、旅行に行ったり、それぞれ忙しいが、その合間をぬってクラブへ行くことが、毎日の生活の中でちょっととした楽しみになっている。体操と、それに使うビデオの使い方をマスターした今では、畑作りや健康に関する情報の交換等をしたり、保健師へ健康相談をしたりする等、勉強の場になったりもしている。

継がれた各家庭の手作りおやつや、とれたての季節の果物等を持ち寄り、お昼前までおしゃべりが繰り広げられる。元気いっぱい、好奇心旺盛なおばちゃんたちは新しい楽しみを探すとともに、新しい仲間も待っている。興味のある人は声をかけてみてほしい。生活の中に楽しみが一つ、増えるかもしれない。



体操のあとのお楽しみ



# 馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長 山中 巖

〈通算第125回〉

## 熊野権現と神仏習合

和歌山県南部の熊野は、他界観念と結びついて、古くから神聖視された地帯です。本宮の熊野本宮大社、新宮の熊野速玉大社、那智の熊野那智大社の三社は一般に三熊野とか熊野三山と呼ばれています。熊野本宮大社は熊野国造が祭祀した古社で祭神は家都美御子大神といい、素戔鳴尊としています。

熊野速玉大社の祭神は伊弉諾尊の御子速玉之男神。熊野那智大社の祭神は熊野夫須美大神といい、伊弉冉尊です。平安時代には神仏習合の風が強まり、本宮・新宮・那智の本地が、それぞれ阿弥陀如来・薬師如来・千手観音と考えられ、熊野三所権現と稱し

平宗盛は那智大社(千手観音)を氏神としていました。門脇中納言平教経が魚梁瀬奥地へ逃れた時、薬師仏を守本尊として奉持し、石仙の上の高峯へ安置しました。このことから、平教経一族は熊野速玉大社を信仰していたと考えられます。また、大野源太左衛門尉盛高ら三人が馬路村相名(相野)へ熊野十二社権現を文治二(千八百八十六)年新宮より勧請しています。奇しくも、現在の魚梁瀬熊野神社、馬路熊野神社の祭神は古くは同じ神があつたのではないかと考えられます。また、金林寺薬師堂の西方に存す「鎮守権現」現在は「鎮守妙見宮」で阿弥陀如来坐像懸仏が拜まれていました。これは熊野本宮大社から鎌倉時代に勧請されたと考えられ、本宮大社が薬師堂をお守りしていたと思われま

また毎年一月一日午前八時金林寺薬師堂に村の有志、住職、熊野神社の神主太夫が出席し、「謡の口開け」が執行され、神主太夫は牛頭天王の牛王札を認めています。災難よけのお札です。戦時中にこれらの行事は休止されました。また、神社へ僧侶が出席してお経をとなえることはあたりまえであつたのです。さて、前号に記した城福寺(成福寺)と巖島神社の関係について考えます。城福寺については、門脇の子孫という赤岡村の木工、佐七が持っていた元暦(約八百年前)の頃の棟札写が一番古い記録です。(馬路村史百七十七ページを見てください)この棟札の実物が少しでも残っていれば国宝ものでしょう。なお、近世の洞(当)雲院城福寺の住職名を記します。

- 一、権大僧都法印惠転 天和3年頃 (約三百二十三年前)
- 二、権大僧都法印祐賢 享保7年頃 (約二百八十四年前)
- 三、法師榮秀
- 四、法師榮海
- 五、法師堯譽
- 六、法師宥範
- 七、大法師龍譽 寛政元年頃 (約二百七十年前)
- 八、大法師教惠 文化十二年頃 (約百九十一年前)

室戸の西寺の末寺になつた年は不明。ところで、城福寺の境内に存した鎮守巖島神社は？



▲ 魚梁瀬熊野神社本殿(水没前)

私の一部推定もまじえて記すと、すでにご承知のとおり明治初年、明治政府によって「神仏分離」の諸令が出され全国的に「廃仏毀釈」が実施されました。土佐藩(明治四年廃藩置県)により高知県となる。寺院・仏像・仏具などが破壊され、また廃寺となりました。高知県では幕末約六百寺のうち四百四十寺が廃寺になつたといわれています。城福寺も難をうけたのではないのでしょうか。そのために、巖島神社は、熊野神社の境内の東に祠を建立し別社として祀られてきたものと考えられます。水没後は、神社の合祭殿に安置されています。



# 赤ちゃん万歳

——パパ・ママといっしょ——



かりん  
湯浅 花梨さん (魚梁瀬)

平成18年4月13日生

(保護者 湯浅雅喜・真奈美さん)

はじめまして花梨<sup>かりん</sup>です。  
キレイな空気と家族みんなの愛情をいっぱいあびながら、どんどん大きくなっています。おしゃべり大好き、ハイハイにおすわりも少しずつ上手になって、今では歩行器でウロウロが一番のお気に入りです。お姉ちゃんとお兄ちゃんの髪をひっぱってニコニコ。怒られても知らん顔してるよ。こんな、おてんばな私だけど、これからもよろしくお願ひします。



いおり  
門田伊桜里さん (魚梁瀬)

平成18年6月22日生

(保護者 門田拓洋・弘美さん)

皆さん、はじめまして！  
私の名前は門田伊桜里です。元氣いっぱい女の子です。うつぶせで遊ぶのが大好きで、目の前のおもちゃをつかんで、は口に入れて味見しています。一番好きなのは何とていってもお散歩！「太いねえ」「丈夫いねえ」とよく言われ、話しかけてもらえると嬉しくて「にこっ」としちゃいます。私を見かけたら声かけてくださいね。ぶつくりほつぺや太もものお肉の触り心地は絶品ですよ。

## 馬路村俳壇

葉喰う千本山にかかる雲

ゆず玉や入山ちかき小屋に風  
一葉落つ浦安の舞はじまれり

柚の香の入りくる車窓馬路村  
みちしるべ家の近づく柚明かり

着陸の翼に重なる十三夜

口すすぐ窓をよぎりて秋蒔

内勤の脚の弱さや運動会

ひとり酌む湯割り焼酎あつすぎる

長き夜や『マザーテレサ』の本めくる

軒々にコンテナ高く柚子香る

終ひ市これはおまけと落鮎を

毬栗をこわごわ持ちちて娘の瞳

わが娘らの背丈抜きゆく秋桜

栗飯を四つの茶碗に盛るゆうべ

生れし子の名を決めかねて暮早し

鶴飛来やつと決まりし子の名かな

笹子鳴くシーツの吾子の仏顔

鷹の目の出会ひがしらや露の坂

花つけて柵の棘まだ柔し

手づくりの蒟蒻五十年ぶりに

つる引けば猿梨ぼろぼろ落ちにけり

猿梨も通草も熟し里の贅

ぬつと出る鹿の親子の冬毛色

名告るほどの者ではないよ草の絮

辻妻のあはぬ話や臭木の実

つづれさせ余り時間は墨を摺る

秋ふかき指をくゆらす蓑の火

角皿を洗ひたてたる神の留守

くちべにのいろいろ秋思浅からず

山崎喜久子

金山久里子

山崎 裕之

山本 美幸

高芝 栄子

高芝 俊二

中屋 良子

氏原 淑

池 蘭子

東谷 晴男



**お**

日 日時

**知**

所 場所

**ら**

申 申し込み先

**せ**

問 問い合わせ先

TEL 電話

**裁判員制度が始まります**

この制度は、国民の中から一つの事件ごとに抽選で選ばれた6人の裁判員が、裁判所の法定で裁判官と同じ席に並んで審理に加わり、裁判官と一緒に話し合いをして有罪か無罪か、有罪の場合はどれくらいの刑にするかを定める制度です。

従って、裁判員に選ばれるということは、決して気楽なことではありませんが、裁判員の仕事をしていただくに当たって法律の知識は不要で、皆さま方のそれまで培われた社会人としての健全な常識による判断こそが大切なのです。

また、「人を裁くのは荷が重い」と思われるのも当然のことではありますが、事件の真相を明らかにし、社会全体が納得する解決を目指すことは、自分や家族が生きている社会をよりよくしていくことにつながっていくのではないのでしょうか。ですから、裁判員の仕事は大きく社会に貢献する非常にやりがいのある仕事だと思えますし、皆さま一人ひとりが、その荷を少しずつ担うことによって、社会が支えられていくのだと思います。

この裁判員制度の実施をわずか3年余り後に控え、私どもは、より多くの人にこの制度を知っていただき理解していただけるよう、広報活動にとりくんでおり、地方自治体、小・中・高校などを中心に裁判員制度について説明させていただいておりますが、今後は、地区の会合の席や職場単位で説明させていただけたらと願っているところです。

裁判所から「裁判員候補者に選ばれました」との通知に驚かれることのないよう、皆さま方にこの制度を知っていただくこと、それが私どもの務めと考えております。

地区や職場や学校などで説明の機会をいただけるようでしたら、下記までご連絡下さい。

**問** 高知地方検察庁企画調査課

**TEL** 088-872-9192

**平成18年度 自衛隊生徒募集**

防衛庁では、中学校卒業生を対象とした自衛隊生徒を募集しています。約3年間は、陸海空自衛隊生徒とも各学校で一般高校と同等の学科と各種技術の基礎を学びます。以後、陸海空各種学校で専門的な技術を学び部隊・機関等で活躍します。

◎高校卒業資格取得

◎入隊と同時に自衛隊生徒に任命(俸給150,200円)

募集種目	資格	受付期間	試験日
自衛隊生徒	15歳以上 17歳未満の者 中学校卒業生 (見込みを含む)	11月1日(水) ～ 平成19年 1月9日(火)	1次試験 平成19年 1月13日(土)

**問** 自衛隊高知地方協力本部 安芸地域事務所  
安芸市本町3丁目11-5 (Smile Aki前2F)

**TEL** 0887-35-2749

携帯サイト <http://www.kochi.plo.jda.go.jp/itop.htm>

**輸血用の血液がピンチ!! 積極的なご協力を**

尊い県民の生命を守る血液が不足し、毎年一割を県外から助けられ、今年は二割にも達しています。今後冬場にかけて益々の不足が見込まれます。

血液の安定確保は法律で、県・市町村・血液センターの役割分担が決められていますが、何と言っても県民自身のご理解が重要です。お近くの献血バスでのご協力をお願いします。献血者の安全確保には万全を期しております。また、患者の安全性を高めるため400<sup>cc</sup>献血を、量確保のため、お一人年2回の献血にご協力をお願いします。

県民の生命は県民自身の善意で守りましょう。

**問** 高知県赤十字血液センター

高知市棧橋通り6丁目7番44号

**TEL** 088-833-6666

**最低賃金改正のお知らせ**

高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改定し、10月1日から施行することとしました。

この決定により、10月1日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間615円以上としなければなりません。

**問・TEL**

高知労働局 賃金室 088-885-6024

安芸労働基準監督署 0887-35-2128



## 村内あちらこちら



10月7日 馬路地区村民運動会



10月12日 魚梁瀬熊野神社大祭



10月29日 生活体験通学合宿



11月8日 秋の学び講座（第3回）



11月18日 馬路村まるごと体験事業

## 村のできごと

### 《10 月》●

- 1日 第15回おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会
- 7日 馬路地区村民運動会
- 12日 中学校安芸郡市陸上大会  
魚梁瀬熊野神社大祭（～14日）
- 21日 馬路会（コミュニティセンター馬路）
- 22日 魚梁瀬地区村民運動会
- 24日 馬路地区スカッシュバレーボール大会（～25日）
- 25日 秋の学び講座（第1回）
- 29日 生活体験通学合宿（～31日）
- 31日 秋の学び講座（第2回）

### 《11 月》●

- 1日 村内小学校陸上交歓会
- 3日 ゆずはじまる祭（ゆずの森周辺）
- 4日 第14回山師達人選手権大会（馬路村民グラウンド）  
中学校安芸郡市駅伝競走大会
- 6日 中学生職場体験学習（～10日）
- 8日 秋の学び講座（第3回）
- 10日 秋の学び講座（第4回）
- 18日 馬路村まるごと体験事業  
（柚子取りボランティア ～19日）
- 20日 馬路中柚子取りボランティア
- 22日 マジックショー（キャリア教育・健康づくり）
- 26日 キャリア教育研修会（職場体験学習発表会）

### 編集後記

一歩家の外へでると、柚子のかおりがほのかににおい、周りの山々も赤くきれいに色づいています。最も良い季節になりました。

その一方、報道を通じ耳に入ってくるのは「いじめ自殺」や「虐待」、また「談合」などいかな言葉ばかりです。心の浄化のためにも、馬路村へ訪ねてきてほしいものです。

（甫）



## 12月・1月 むらの行事予定

日	月	12 月	日	月	1 月
1	金	邦楽演奏会 (魚梁瀬杉の家)	①	月	新春走り初めピットリタイムレース (魚梁瀬) 元 日
2	土		2	火	成人式 新春走り初めピットリタイムレース (馬路)
3	日	古式行事発表会	3	水	
4	月		4	木	仕事始め
5	火	校内持久走大会 (馬小) 絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30~17:15	5	金	
6	水	馬路保育所もちつき 校内持久走大会 (魚小) 魚梁瀬いきいき百歳体操 (多目的施設) 13:30~14:30	6	土	
7	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	7	日	消防出初式
8	金	人権・行政相談 (就業改善センター) 10:00~15:00	⑧	月	成人の日
9	土	第34回馬路村文化祭 (~10日) 安芸都市新人球技大会 (~10日) ハミングゆーずクリスマスコンサート	9	火	始業式 絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00
10	日		10	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~11:30 馬路村議会議員選挙告示
11	月		11	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00
12	火		12	金	一日行政相談 (就業改善センター) 9:30~12:00
13	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~11:30	13	土	村内芸能発表会
14	木	馬路村キャリア教育研究発表会 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	14	日	村民駅伝競走大会
15	金	乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付	15	月	馬路村議会議員選挙投開票
16	土		16	火	
17	日		17	水	魚梁瀬いきいき百歳体操 (多目的施設) 13:30~14:30
18	月		18	木	参観日 (馬小) 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00
19	火	ふれあいもちつき (魚中) 絵本のよみきかせ (交流センター) 10:30~11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30~17:15	19	金	PTA交通指導 (馬小) 乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付
20	水	魚梁瀬保育所もちつき 魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00	20	土	冬季卓球大会 (~21日)
21	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~11:30	21	日	
22	金	参観日 (馬小) 馬路保育所クリスマス会 魚梁瀬保育所クリスマス会 3歳児健診 (奈半利町保健センター) 13:00~受付	22	月	
⑳	土	天皇誕生日	23	火	絵本のよみきかせ (交流センター) 10:30~11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30~17:15
24	日		24	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00
25	月	終業式 犬・猫ひきとり	25	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~11:30
26	火		26	金	1歳6か月児健診 (安田町保健センター) 13:00~受付
27	水		27	土	
28	木	仕事納め	28	日	
29	金		29	月	犬・猫ひきとり
30	土		30	火	
31	日		31	水	魚梁瀬いきいき百歳体操 (多目的施設) 13:30~14:30

人口 月中異動	増 加			減 少			月末現在 人口合計		
	出生	転入	職権 計	死亡	転出	職権 計			
10月	1	0	0	1	0	3	0	3	1,133
11月	2	2	0	4	0	2	0	2	1,135

(馬路 874人、358世帯・魚梁瀬 261人、128世帯)  
馬路村特別村民 2,035人 (11月30日現在)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL0887-44-2216 FAX0887-42-1010

E-mail adress umaji-v@kochinet.ed.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)